

教えて! 市立病院



【今月のドクター】
放射線科長
もりおか こずえ
森岡 梢 医師

当院の放射線科は「放射線診断」を専門としています。CTやMRI、RI検査などを用いて、患者さんの画像情報から病気の有無や病気の進み具合を診断しています。裏方の仕事がメインとなり、普段患者さんと直接顔を合わせる機会はほとんどありませんので、馴染みがない診療科かもしれません。

〈第128回〉

放射線診断科ってどんなところ？

■問合せ／市立病院総務課企画財務担当 ☎ 22-2450

具体的には、適切な検査を施行するための計画を立て、必要な指示を出し、検査が安全かつ円滑に行われるように気を配ります（実際に機器を操作し、いわゆる「写真を撮っている」のは、「診療放射線技師」という資格を持つ職員です）。私たち放射線科医師はそうして得られたたくさんの方の画像を一コマ一コマ隅々まで丁寧に観察・解析して必要な情報を取り出し、主治医に結果を報告します。これを「読影」と呼んでいます。当院で行われるCT・MRI・RI検査のほぼ全てを放射線科医師が読影しています。救急外来で行われた検査も例外ではありません。当院では放

射線科医師の自宅にも読影端末を設置しており、24時間体制で読影しています。この救急対応は2006年から施行されており、勤務病院と自宅とを結ぶ遠隔読影として全国的に見てもかなり早い時期に導入されたシステムです。2012年からはiPadによる画像診断も可能になっています。

さまざまな診療科からの依頼を受けて検査を行っていますので、それなりに幅広い知識が必要とされます。検査技術も日進月歩です。各診療科の医師の要望を理解し、診療に必要な情報を提供できるよう、知識を吸収し、技術を習得するように努めています。